

～豊かな心と確かな力 瞳輝く寒川の子～

寒川町立寒川小学校

研究テーマ：「やりたい！知りたい！伝えたい！」の気持ちがあふれる子どもの育成
～「はてな・なるほど・だったら」のサイクルができる子ども～

1、実践の目的

2021年度に行ったアンケートの結果から、なぜ授業に対して受け身になってしまうのかが明確になってきた。

- ①課題がわからずに困っている児童が多い。
- ②間違いを恐れている児童が多い。
- ③文章を理解して問題を解くことが苦手な児童が多い。

こうした現状を打破するために、「やりたい！知りたい！伝えたい！」の気持ちがあふれる子どもの育成」をテーマに掲げた。子どもたちの「やりたい！」という気持ちを育むために、「はてな？なるほど！だったら！？」の授業作りを行ってきた。子どもが「えっ？」となるような揺さぶる発問や身近なことや次時につながる「だったら」が出てくるような仕掛けなどを授業に組み込み、子どもの意欲を育てる研究を目的とした。

2、実践の内容

＜講師招聘の内容＞

明星大学客員教授兼明星小学校長の細水保宏先生を招聘し、講演会を開催した。以下は講演会の内容である。

- 算数のよさや美しさ、考える楽しさを味わう授業づくりを行うためには、次のことを教師が意識することが大切。

- ①考えたくなる、表現したくなる場を創る
- ②考えてよかった、表現してよかったと感じる場を創る
- ③相手を意識して表現する力を育てる
- ④教師自身が算数・数学を楽しむ心を持って授業する

＜研究協議の内容＞

各学年1回、細水先生を招いて授業研究を行った。グループ協議は、「KJ法」を行い、授業の成果や課題についてグルーピングや内容の整理をし、話し合いを進めていった。グループ協議では、子どもたちが「なるほど！」に到達するための「はてな？」は有効であったのか、時間配分はどうだったかを中心に進められた。協議後、細水先生から今回の授業についての指導・講評をいただいた。授業を終えた後の子どもの「なるほど！」は何かを1番に考え、その「なるほど！」にたどり着くための有効な「はてな？」は何かを考える必要があることに気づいた。



3、実践の成果

<学年の成果>

- 子どもの意欲を引き出すための「はてな？」は有効であり、みんな学習に意欲的に取り組む様子が見られた。
- タブレットを有効に活用し、子どもの学習意欲を盛り立てることができた。また、思考の場面での時間短縮にもつながった。
- 授業から気持ちが離れないように子どもたちを引きつける声かけや指導展開がありよかった。
- 「はんばな長さを表すためには。」という問いに対し、前単元の学習を活かしながら考える児童がいた。算数の学習が、日々の生活に活かされていることが伝わった。
- 式を読む活動は、時間を確保した上で行うことにより、活動が最大限に活かされた。
- ペアで伝え合う→交流という流れが児童に染みついていると普段の学習の充実度が伺えた。
- 前時に児童から出た「だったら!？」を本時の「はてな？」(めあて)にし、「はてな」をもとに次の「だったら!？」につなげていく流れを作ることができた。

<全体の成果>

- ①『はてな』『なるほど』『だったら』を中心に授業づくりをどの学年でも行うことができたことである。問題把握(はてな)→自力解決→共同思考(なるほど)→まとめ→深める・広げる(だったら)を意識した授業づくりをすることで、1時間の本時だけでなく、単元全体の指導においても「どのような力をこの単元で身に付けさせるべきか」(なるほど)を前後の授業(はてなとだったら)の視野に入れながら授業を構想することにつながった。単

元全体から本時を考察することを通して教材研究が深まり、本時の位置づけの価値を明確に捉えることができた。

- ②「細水先生を招聘し、授業構想から授業リフレクションに至るまで指導をいただき、『授業改善のサイクル』ができるよう成果と課題を共有できたこと」である。研究授業後の協議会では、各グループで多様な視点で話し合い、指導講評を今後の授業に活かしていく筋道を立てることができた。

4、今後の展開

- ①『はてな』『なるほど』『だったら』の授業展開をさらに深化、拡充を図る
実際に授業での有効性を高めるため、児童の姿をより一層具体的に、かつ詳細に予想し、児童の実態に応じた幅広い手立てを設定できるよう柔軟に授業づくり、教材研究を行なっていきたい。
- ②「主体的に取り組む気持ちがあふれる児童を育成するために、『考える力』を伸ばさせ、さらに言語活動を充実させていく」
目指す児童像を算数の授業を通して創り上げていく上で、児童が自分の考えを確かに創り上げ、互いの考えを効果的に伝え合ったりするための媒体は言語である。考える活動を充実させるための言語活動の在り方を明らかにし、意図的・継続的な指導を今後も行っていきたい。
- ③「研究内容を継続的に実践していく」
研究内容を日々の授業で日常的に実践し、授業改善を行い、研究の継続的实践に努めていきたい。